

# 地域人材による地域主導の 交通利用促進に関する研究

—地元高校生と地元大学生の協働による  
「大人の社会見学」事業を通じて—

大分大学経済学部：石川裕二 押川早希 園田花子  
中下郁恵 浜野允実 山本菜摘  
大井尚司（指導教員）



豊後大野市まちづくり推進課：後藤 祥・伊東 正史  
大分県立三重総合高校メディア科学科  
日本工営株式会社福岡支店：白石 悦二 高峯 高

# 大人の社会見学3年目！



## 2年目

- コミュニティの場の創造
- 外出機会の創造
- 利用促進成功

NEW

3年目

## 高校生と 連携！

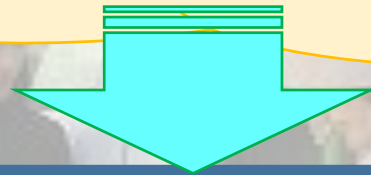
## 1年目

- 現地調査
- 地域づくりの提案



# 社会実験の結果

「時刻表が読めない」「乗り継ぎが不安」  
「アナウンスが欲しい」 etc...



## 高校生バスガイド計画

- ・毎週金曜日の午後に高校生が同乗
- ・乗り継ぎや支払い方法を案内

コミュニティバスに関する  
不安・不満を解消！

高校生が地元について考えるきっかけになった

# 社会実験で得られたこと

○高校生がバスガイド計画を立案

➡ 技術移転の成果

○2014年度ほどの利用者の増加は見られず・・・

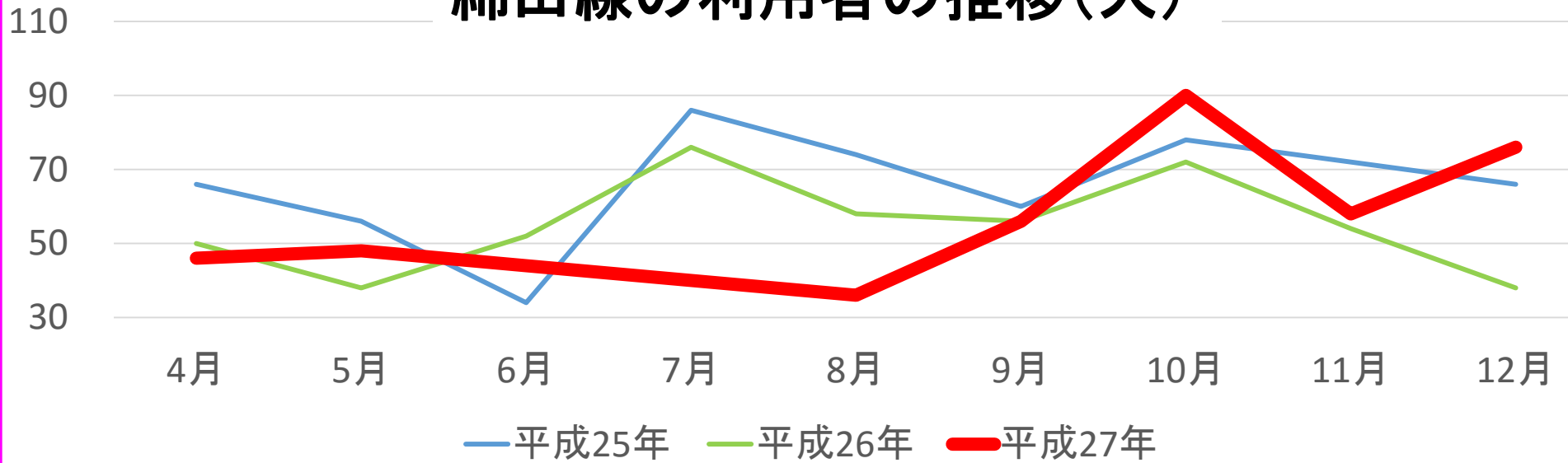
➡ 社会実験の実施＝利用促進とは限らない

🚗 **地域主導型**利用促進への**第一歩**

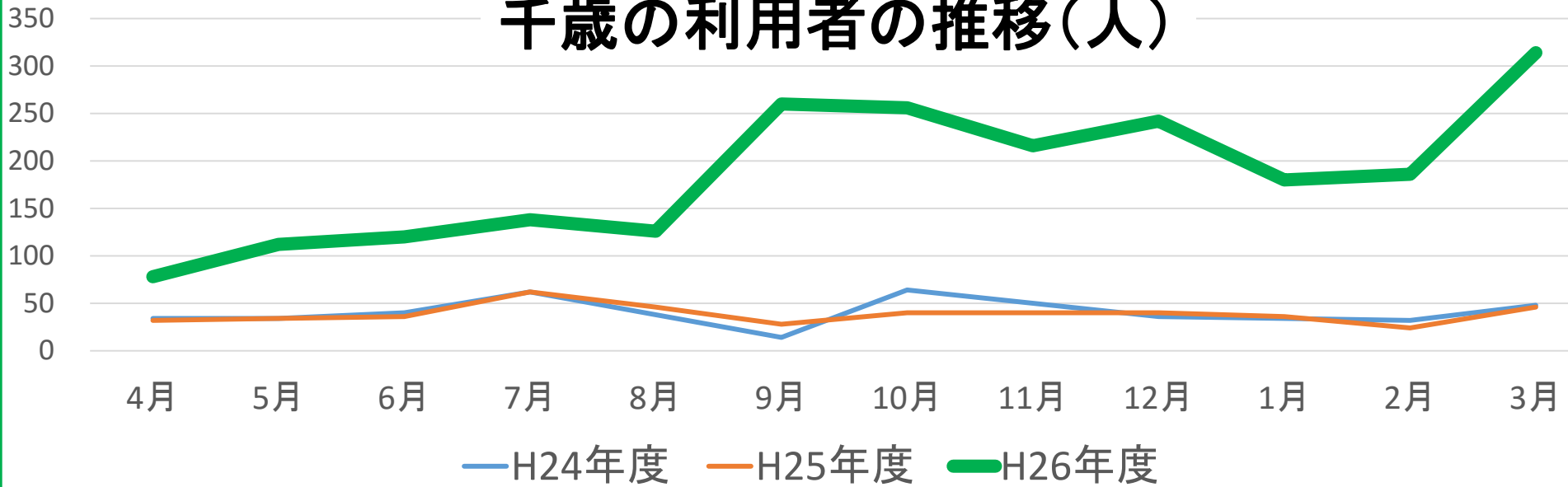
🚗 **地域特性**を理解する必要がある



## 綿田線の利用者の推移(人)



## 千歳の利用者の推移(人)





# コミュニティバス利用促進活動

2014年度の成果

社会参加の機会

増

コミュニティの場と外出の目的



- ✓ トリガー制度
- ✓ 交通会議
- ✓ 大人の社会見学

2014年度の社会実験より

地域主導型のコミュニティバスの利用促進活動が必要

高校生の  
発表



経済学部  
特別賞



取材





# 社会実験



## レクリエーションの様子





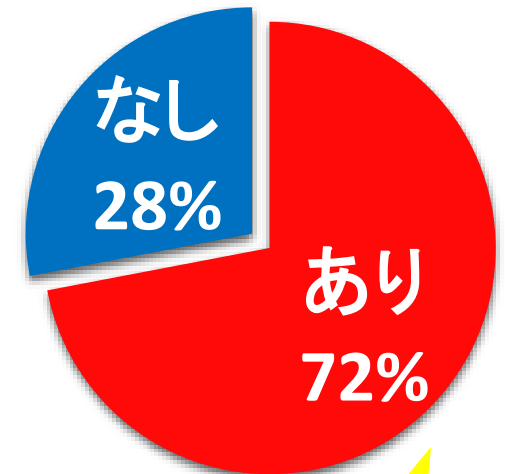
# 豊後大野市の現状

買物施設

朝地駅



免許の保有率



路線バスが通行不可の区間  
生活に必要な施設が点在

自家用車による移動が  
不可欠